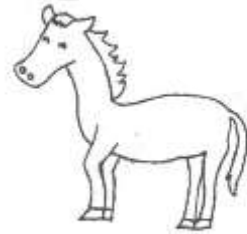


花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成26年1月8日 NO.75

**2014年
新年
あけまして
おめでとう！
今年もよろしく！**



うま(牛)



駒草

うま君 「国立第七小学校のよい子のみなさん。新年あけましておめでとうございます。

A HAPPY NEW YEAR! 今年はぼくの年です。よろしく！」

オー君 「え！今、何て言ったの？」

花ちゃん 「ア ハッピー ニュー イヤー。つまり、英語（えいご）で『あけましておめでとうございます』 ということですね。」

うま君 「平成26年。2014年。あけましておめでとう。国立第七小のみなさん。大きな事故（じこ）やけがなどもなく、元気に会えて本当によかったね。」

オー君 「よかったね。ところで・・・うま君！駒草（こまくさ）って何なの？」

うま君 「駒草というのは、花の形が馬ににているんだ。高山植物の女王なんだよ。」

モンタ博士「ステキな花なんだ。そのうち大きくなったら花ちゃんもオー君も見てごらん。

あ！そうだ。新年のごあいさつ。みなさん！今年もよろしくね！」

オー君 「今年もみんなでわくわくてくてくしたいね。」



花ちゃん 「そうですね。今年もみんなドキドキしてくてくしたいですね。」

モンタ博士 「今年もみんな、わくわくドキドキ国立てくてくしましょう。ところで、みんなはどんな冬休みだったかな。」

花ちゃん 「おせち料理（りょうり）をたくさん食べて、元気もりもりです。」

オー君 「おいらは、お雑煮（ぞうじ）におもちをいっぱい入れて、おなかいっぱい元気いっぱいです。あれあれ？上の写真は、何ですか。」

花ちゃん 「オー君。知らないの。七草（ななくさ）よ。おかゆできのう食べたわ。」

モンタ博士 「春の七草というのがあるんだよ。セリ、ナズナ、オギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロといってね。七種類の草をおかゆに入れるんだよ。」

オー君 「え？ちょっと待って。春の七草というけど、今は冬だよ。春じゃないよ。」

花ちゃん 「そうね、でも年賀状などに、新春とか初春とか、春という字が使われるわよ。」

オー君 「こまったな。どういうことなんだ。」・・・七草のお話はまだ続きます。

七草とは…セリ、ナズナ、オギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ

セリは独特な香りをもっているセリ科植物。清水がわくような水辺に生える。若菜がせりあって生えてくるので、この名がついた。ナズナは、アブラナ科で道端や庭などに生えるもの。可愛らしい菜なので、撫で撫でしたくなる菜で、撫で菜がナズナになったという説がある。オギョウというのは、キク科の植物で、ハハコグサという説。ハコベラとは、ハコベの古名でナデシコ科。この草は、鳥などが喜んで食べるらしい。また、ハムスターも大好物との事。さて、ここで、問題。ハコベの花は何枚でしょうか。よく見てください。5枚でしょうか。10枚でしょうか。答は自分で確かめてください。そのうち、国立てくてくの話題としてのせるかも。ホトケノザというのは、シソ科植物ではなく、タビラコというキク科植物を指す。このへんがどうもこんがらがっちゃう。田の畔などに生えるものであるが、最近は少なくなったようだ。スズナとは、鈴のような根のカブの事。スズシロとはダイコン。ともに古名です。春の七草として七草粥に入れるときは、どちらも葉を用いる。